



3年目にして初めての大学祭! 次回こそは、思い描いた通りの馬関祭に!

こんにちは。学生広報スタッフの望です。2022年11月12日(土)、13日(日)に開催された第61回馬関祭について、大学祭実行委員長として運営に奔走された大原拓海さんにお話を伺いましたのでレポートします。

「自分が思い描いていた大学祭は、屋外でたくさんのサークルが模擬店を出店したり、花火を打ち上げたり、アーティストを呼んだり、学外からも多くの来場者が来るというようなものでした。今回の馬関祭は、

様々な制約のもと、断念せざるを得ないことも多くありましたが、たくさんの方にご協力して頂き無事に開催することができました。」と大原さんは安堵の表情を浮かべます。



普段とはまた違う大原さんの一面が見えました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、2年連続中止となっていた大学祭。3年生の大原さんにとっても初めての開催です。100人以上の人を巻き込みながら仕事を振り分け、学祭当日から逆算して準備をしていく運営が大変で、人に指示を出す立場の難しさを感じたそうです。

「今回は幹部を3年生だけでなく2・3年生共同で担当したので、たくさん吸収したことを次に

つなげられると期待しています。軽音楽部やよさこい、日本舞踊やダンスなどのサークルの披露の場にも、たくさんの方が集まってくれて、見に来て頂いた方にも助けられ、良い刺激になったのではないかと思います。」

今回の馬関祭を経て、大原さんは後輩たちに「次回こそは自分たちの思い描いた通りの馬関祭にして成功させてほしい、終わってから悔いがないように頑張ってほしい!」とエールを送りました。

出演/大学祭実行委員長 大原拓海さん
取材・文/望
撮影/そうし、はづき



大学祭実行委員のメンバー